

次に忠孝のこゝろざしあるか無きかを相し、次に陰徳の志を相し、次に意動き不動を相し、次に始末のなるならざることを相し、又視聽言動の間に相して後、骨格血色流年によつて、ことごとく善惡を相する事、專一にして可也。

〔神相全編正義上〕相說

大凡觀人之相貌、先觀骨格、次觀五行、量三停之長短、察面部之盈虧、觀眉目之清秀、看神氣之榮枯、取手足之厚薄、觀鬚髮之疎濁、量身材之長短、取五官之有成、看六府之有就、取五岳之歸朝、看倉庫之豐滿、觀陰陽之盛衰、看威儀之有無、辨形容之敦厚、觀氣色之喜滯、看體膚之細膩、觀頭之方圓、頂之平塌、骨之貴賤、肉之粗流、氣之短促、聲之響亮、心田之好歹、俱依部位、流年而判、推骨格形局而斷、不可順時趨奉、有玷家傳、但於富貴貧賤、壽夭窮通、榮枯得失、星宿流年、休咎、備皆週密、所相於人、萬無一失、學者亦宜參詳、推求真妙、不可忽諸。

名人

〔二中歷一能〕相人

- 許負 康舉 蔡澤 京房 管輅 左慈 圭孟 董興 朱平 胡嫗 樊英 李南 陶隱唐上
- 家三 滿洞 臯通 清河 觀容 笠景 容登 盧平 洞昭調一昭云 容聖 義舜 日暗 忠壽
- 教光 淨藏 磐上 重恒

說云、唐人張滿洞、々々傳、周臯通、臯通傳、清河大臣、大臣傳、觀容律師、律師傳、容公、容公傳、義舜、自餘隨舜公、并目暗者、洞昭之後也、教光橋高明大臣 淨藏善相公第八男 磐上、別當。

〔源平盛衰記十五〕相形事

抑相者、洽浩五天之雲洪、携九州之風、五行結氣、成膚成形、四相稟運、保壽保神、依之月氏、映光、教主釋尊、屢應其言、日域傳景、太子上宮、剩顯其證、一行禪師者、漢家三密之大祖、圓輪滿月、床傍審一百廿之篇章、延昌僧正者、我朝一宗之先賢、界如三千之窻內、省七十餘家之施設、內外共厲、此術、凡聖同弘、斯